

第3回長野県地下熱等利用システム研究会 議事録

開催日：平成22年12月27日（月） 午後2時30分～

場 所：長野県庁西庁舎108会議室

出席者：藤縄 克之 会長（信州大学工学部土木工学科教授）

笹田 政克 委員（地中熱利用促進協会理事長）

柴 芳郎 委員（地中熱利用促進協会委員）

高杉 真司 委員（地中熱利用促進協会副理事長）

山本 高明 委員（長野県環境部環境政策課長）

議 題：長野市役所の調査結果及び地下熱等利用システム導入（案）について

<出された主な意見等>

- ・鉄分を少なくするなら、浅い層から採水した方がよい。
- ・地下水を直接利用するのは好ましくないので、ヒートポンプの上流に熱交換器を設置した方がよい。または、浄化装置の設置を検討した方がよい。
- ・暖房時は、出口の水温が低下するので凍結のおそれがある。5℃以下にならないように。
- ・汲み上げる地下水の量が多いので、影響範囲を見るためにも、どの帯水層から汲み上げたらよいのか検討が必要。
- ・既存井戸の設置（昭和59年）のデータ等を比較すると、井戸の能力が落ちてきているように思えるので、地下熱利用システム専用の井戸を掘削した方がよい。